

導入事例

タイムスタンプ
専用端末
(APX2-TS13)

試験報告書の信頼性を高めるタイムスタンプ

簡単操作とコストパフォーマンスで選ばれるオンプレミスの専用端末



北海道生コンクリート工業組合は、北海道の生コンクリート工場による組合組織です。生コンクリート製造業に関する指導・教育、情報発信、調査研究のほか、第三者試験機関としての共同試験事業を行っています。同組合のコンクリート技術センターでは、依頼企業様へ提出する試験結果の報告書について、「タイムスタンプ専用端末 (APX2-TS13)」を用いた真正性の担保を行っています。導入時、クラウドサービスのタイムスタンプも検討しましたが、最終的に選ばれたのはオンプレミスのAPX2-TS13。試験所長の保坂憲太氏に、本製品を選じた理由、またその導入効果について、詳しくお話を伺いました。

導入商品



タイムスタンプ専用端末 (APX2-TS13)

試験報告書の真正性を証明し、リスクを最小化するために

—— タイムスタンプ専用端末 (APX2-TS13) を導入された経緯を教えてください。

依頼企業様からの依頼に応じて原材料などの試験を行い、結果を試験報告書として発行するのが当試験場の主な業務です。従来、試験報告書は紙に押印して発行していましたが、ISO/IEC 17025認定維持における改善への取り組みの一環として、電子化することになりました。その際、新たな試験報告書の真正性を確保するために、電子証明書、タイムスタンプの付与を決めました。ISO/IEC 17025では試験業務のマネジメントシステム構築が求められており、当組合もこれまでに所内文書や試験データといったさまざまな文書記録の電子化を推進してきました。また、試験報告書と直接関連があるわけではありませんが、令和4年施行の改正電子帳簿保存法も1つのきっかけになっています。もちろん、改ざん対策、電子文書の真正性証明のために、タイムスタンプは欠かせないものなのです。

「これだ!」と確信。使い勝手、ランニングコストを考えると、断然オンプレミスが正解だった

—— APX2-TS13を選んだ理由を教えてください。

シンプルで理解しやすい点を評価しました。指定されたフォルダーにPDFの試験報告書をドラッグ&ドロップするだけで手順も明快です。月間約600件以上という大量の試験報告書を作成しますので、できるだけ簡素化したいと思っていました。比較検討したクラウドサービスの場合だと、アプリケーションを立ち上げてシステム上で操作を行う必要があり、さらに安全に運用するために承認フローも必要になります。一方でオンプレミスのAPX2-TS13は、フォルダーのアクセス権限を厳密にすることで安全性を担保できます。

—— コストについてはいかがですか？

クラウドサービスでは料金設定が1スタンプあたりの価格になっていることが多く、発行頻度の高い業務で利用すると高額化の懸念があります。その点APX2-TS13なら、件数を気にせずいくらかでも使えます。まさに「押し放題」なので安心ですね。

—— 導入後、試験報告書の作成業務はどう変わりましたか。変化を実感されていますか。

紙の試験報告書を削減することができて、さまざまな効率化につながりました。特に、時短という観点では目覚ましい効果が見られています。今は試験終了の10分後にはメール添付で原本をお届けできます。煩雑な運用からも解放され、郵送コストも削減できました。本来、私たちのリソースは事務的な業務ではなく、試験品質を高めることに使いたいと思っておりましたが、その点でも大きな成果が得られました。当組合は業界の指導・教育、情報提供などを行う役割も担っており、今回の取り組みがさらなるDX推進や組合員工場の意識向上につながることを期待しています。



生コンクリートの品質管理上求められる重要な各種試験業務を一括で行い、依頼企業様の業務合理化を支援。

取材にご協力いただいたご担当者様



北海道生コンクリート工業組合
事務局・コンクリート技術センター
道南試験所 / 道央試験所

保坂 憲太 様



CLIENT DATA

導入組合 / 北海道生コンクリート工業組合
所在地 / 北海道北斗市清水川1142番地29
設立 / 1977年

